

## 令和4年度第1回守山市自殺対策連絡協議会 議事録

日時：令和4年6月29日（水）  
午後2時から午後3時30分まで  
場所：守山市市民交流センター  
1階サロニールーム

### 【出席者】（名簿順）

委員：福田正悟、太田智真、淵上清二、田中良信、三上房枝、横江学、  
辻本長一、田中志歩

事務局：健康福祉部 沖田理事、池田次長、すこやか生活課 森口課長、  
川中参事、金沢係長、阿部主査、大朝主任保健師、  
生活支援相談課 青木係長、地域包括支援センター 大寄係長、  
学校教育課 木村指導主事

### 【欠席者】（名簿順）

委員：藤本直規、雨森貴史

### 【議事内容】

#### 1 開会

#### 2 報告事項

（1）本市の自殺者の特徴（年代・原因など）について

事務局	資料1について説明
淵上委員	令和3年自殺者数のうち、20歳未満の死亡者3名の内訳は分かるのか。具体的に小学生か中学生か高校生か。
事務局	厚生労働省が発表している地域における自殺の基礎資料を基に作成している。19歳以下の内訳については、公表されていない。※
福田会長	学校は確認できてないか。
辻本委員	確認できていない。

※19歳以下の自殺死亡者の内訳について、市は把握しておりますが、個人情報保護の観点から、公表は差し控えさせていただきます。

#### 3 協議事項

(1) 令和3年度の成果と課題、令和4年度の事業計画について

事務局	資料2・資料2-1・資料2-2。参考1・2について説明
辻本委員	令和4年度 不眠症状に着目したうつ啓発事業についてのポスター掲示およびチラシ設置場所について。ネットの時代なのでそれらを用いた啓発が必要なのでは。
事務局	ホームページ等でも啓発したいと考えている。
淵上委員	参考2 不眠症状に着目した啓発ポスター・チラシ(案)について、お父さんとあるが、働く世代のお母さんや女性にも啓発をしたほうがよいのではないか。
事務局	働く世代への啓発だが、働き世代の男性の不眠の症状が多かったので『お父さん、ちゃんと眠れてる?』と記入した。いろいろな世代には『最近、ちゃんと眠れていますか?』という呼びかけのポスターを使用しようと考えている。今回頂いたご意見を参考に、作成していきたい。
田中良信委員	商工会議所でも機会があれば会員事務所の各職場や対象になる方にも部数があれば配布等して協力したい。
太田委員	資料2 【自殺対策計画】令和4年度の重点的な取組内容について 重点施策1 こども・若者への支援、妊産婦への取組における公正証書等作成促進補助金事業についての実績・事業内容を知りたい。養育費に関してか。どういう形で公正証書作成の補助があるのか。専門家がどのように関わっているのかも知りたい。
事務局	令和3年度の実績は1件。養育費の取り決めにかかる費用を市が負担し、養育費の受取を支援するもの。 公正役場での公正証書作成に係る公証人手数料の補助で上限は43,000円。書類の作成準備に係る諸経費は自己負担。
太田委員	予算の上限はあるのか。公正証書作成のサポートがあるだけでもいいことである。画期的な制度なので積極的に啓発してもらえたら。予算の関係もあると思うが。
事務局	積極的に周知・啓発するよう、ご意見は担当課に伝える。
福田会長	司法書士の協会には知らせがなかったのか。
太田委員	もしかしたら来ていたかもしれないが、私の耳に届いていなかったなので、周知してもらえたら。
辻本委員	リジリエンシープログラムの内容、成果を知りたい。
事務局	12時間の授業を、学校担任から実施する。カラー刷りの冊子を

	子どもたちに1人1冊配布している。冊子に掲載しているアイテムを授業後にも活用できるような工夫をしている。授業を行ってみると学校ごとの特徴あり。全小学校でアンケートを実施し確認している。1回きりの授業にするのではなく、アンケートの積み重ねを行い、授業の評価をしていきたい。
辻本委員	思春期を迎える前の時期に実施することで、一定の効果は認められると思うが、アンケートを実施して終わりではない。その成果・状況を踏まえて学校教育の中でどう活かしていくか。教育課程と関連付けながら実施していくと効果を得られるのではないか。
福田会長	4年生は低学年。アンケートを実施するだけでなく、教育の中で組み合わせて実施して欲しい。
田中良信委員	資料2-1 守山市自殺対策計画重点施策調査表 【重点施策2】 高齢者への支援について。介護している人も高齢者になってくる状況。ケアマネジャー、市、民生委員・児童委員がお互いに連携をし、介護者へのケアをお願いしたい。
事務局	在宅介護で介護者へのケアは大変重要と認識している。介護負担軽減に在宅サービスの利用等あるが、経済的な理由によりサービス利用が出来ていない人もいる。 民生委員・児童委員とも情報共有し、地域での見守りを行っている。特に認知症の介護者に関しては、市の訪問も行いながら、虐待・介護心中等に充分注意しながら支援していく。
田中志歩委員	資料2-1 【自殺対策計画】 令和4年度の重点的な取組内容について 重点施策1 こども・若者への支援 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの相談について。以前、学校教育課とすこやか生活課で月に1回事例検討会を実施していると聞いたが、スクールカウンセラー等も参加しているのか。支援の具体的な取組について知りたい。
事務局	学校教育課とすこやか生活課との検討会には市のスクールカウンセラーも参加している。個別の具体的な内容について、意見交換しながら対応を協議している。
田中志歩委員	毎回スクールカウンセラーと相談するような状況か。
事務局	毎回双方で報告し協議している。

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響による相談への取組について

事務局	資料 3・資料 3-1・資料 3-2 について説明
三上副会長	オンライン相談はどのようにしているのか、内容を知りたい。常勤の専門職が行っているのか状況を知りたい。
事務局	オンラインの健康相談は常勤の保健師が対応させていただいている。昨年度は電話や対面での相談を希望される方が多く、オンライン相談の実績はない。
福田会長	商工観光課の臨床心理士は、市の職員か。臨床心理士の人数は少ないはずだが、体制は整っているのか。
事務局	外部より毎月 1 回臨床心理士が訪れ、相談対応していると聞いている。

(3) 時期計画策定に向けたアンケート調査について

事務局	資料 4・資料 4-1 について説明
淵上委員	アンケートの回収率の目標値はどうか。
事務局	庁内で実施している他のアンケートを参考に 40%を目指している。
福田会長	40%を目指してください。
三上副会長	20 年近くで生活様式が変わっている。同じ設問でないと変化は見れないが、社会状況を含めた質問の追加が必要ではないか。コロナに関して具体的には P28 問 54 の内容は感染した人に対しての質問ともとれる。『感染症の流行、社会状況があなたの健康生活にどのような影響を及ぼしましたか。』という質問は意識も行動もすべてだが、1～5 だけではあてはまらない。経済状況が悪くなったり、家族関係が悪くなった等の選択肢を増やすべきでは。健康だけでなく地域の変化を考慮すべきではないか。この質問は専門業者が考えたのか協議会で考えたのか。最終評価は業者がするのか。結果が出ても行政に反映できる内容なのかどうか。
事務局	健康に関するアンケートという視点で、ご意見踏まえて選択肢についてはもう一度検討させていただく。分析は専門家をお願いする。
福田会長	アンケートは、平成 13 年から追跡調査をしているということか。感染症など社会的状況についても、質問内容に反映するように検討していただきたい。
太田委員	アンケートの内容は健康に関連した調査だが、ウクライナ情勢に

	伴い物価・電気代が高くなるとか、SNSの関係のストレスの対応等が確認できるような設問があってもいいのではないか。例えば問 49 に入れるなど。新しい情勢での質問が必要であると思うので、検討していただければ。
福田会長	時代背景にあった項目も検討していただければ。
事務局	次回の開催時期は 11 月頃を予定している。